



啓林堂書店 外商部
 担当 蔵田・八部・表野・森川
 Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151
 e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp
 啓林堂書店HP <https://www.books-keirindo.co.jp>

▽ 幼稚園・保育園以上

	<p>うちのピーマン 文 川之上英子 文 川之上健 絵 柴田ケイコ ￥1,650</p>
<p>今日のお昼ご飯は野菜炒め。冷蔵庫にあったピーマンを取り出すと、なんと！ピーマンがしゃべりだしました。「切ります？やめたほうがいいんじゃないかなー」どうもピーマンは食べられたくないみたいです。あの手この手で食べられるのを阻止しようとしてます。ピーマンといえば、嫌いな子のための話かと思いきや、ピーマンが食べられるのを嫌がる話なんです。</p> <p>ISBN 978-4-7520-1094-4 アリス館 : 2024年 発売</p>	
	<p>くものすおやぶん とりものちよう 作 秋山あゆ子 ￥1,100</p>
<p>桜が満開の虫の町。おにくものくものすおやぶんが町を見回ります。そこへ、お菓子屋に盗人から手紙が届いたと訴えが。おやぶんは盗人を捕まえられるのか。時代劇のような虫の町。いろいろな虫たちが着物を着て登場。すみずみまで描き込まれています。</p> <p>ISBN 978-4-8340-2149-3 福音館書店 : 2005年 発売</p>	

▽ 小学生以上

	<p>いちご 作 荒井真紀 ￥1,650</p>
<p>いちごを食べたとき、ぷちぷちと音がします。何の音でしょう。大好きないちごを深堀する科学絵本です。いちごがどのようになるのか、苗を植えて観察して、その様子を繊細な画で描きます。音の正体もわかりますよ。とてもおいしそうないちごを見ると、実際に観察しながら食べたくなっちゃいます。</p> <p>ISBN 978-4-09-725052-4 小学館 : 2020年 発売</p>	
	<p>あさいち 絵 大石可久也 語り 輪島・朝市の人びと ￥1,100</p>
<p>とても有名な石川県輪島の朝市。海のものや山のものをおばちゃんたちが町まで運んで、いつも同じ場所に店を出します。活気ある様子、おばちゃんやお客さんとおしゃべりの様子を輪島の言葉で描きます。今年、起きた能登半島地震。復興の願いを込めてこの絵本が復刊されました。福音館書店は本作品の利益を災害義援金として日本赤十字社に寄付するとのことです。</p> <p>ISBN 978-4-8340-0266-9 福音館書店 : 2024年 発売</p>	